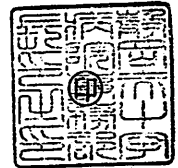


地域医療支援病院業務報告書

平成27年10月1日

静岡市保健所長 所長 加治 正行 様

開設者  
住所 静岡県静岡市葵区追手町44番17号  
名称 日本赤十字社静岡県支部  
代表者の氏名 支部長 川勝 平太  
電話 054-252-8131



平成26年度の業務について、次のとおり医療法第12条の2第1項の規定により報告します。

- 1 地域医療支援病院の名称
- 2 開設の場所
- 3 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績
- 4 共同利用の実績
- 5 救急医療の提供の実績
- 6 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績
- 7 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
- 8 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 9 医療法施行規則第9条の19第1項の委員会の開催の実績
- 10 患者相談の実績



別紙1 地域医療支援病院の名称及び開設の場所

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒420-0853 静岡県静岡市葵区追手町44番17号
氏名	日本赤十字社 静岡県支部

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 地域医療支援病院の名称

静岡赤十字病院
---------

3 所在の場所

〒420-0853 静岡県静岡市葵区追手町8番2号	電話 (054) 254-4311
------------------------------	-------------------

4 病床数

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
0床	0床	0床	0床	517 床	517 床

## 5 施設の構造設備

施設名	設備概要
集中治療室	(主な設備) 除細動器、心電計、人工呼吸器、呼吸循環監視装置、ベッドサイドモニター、超音波診断装置、個人用透析装置、補助循環装置 (IABP・PCPS) 病床数 7床
化学検査室	(主な設備) 生化学自動分析装置、自動グリコヘモグロビン分析計、全自動免疫化学発光測定装置、全自動血液ガス分析装置、自動血球分類装置
細菌検査室	(主な設備) MIC培養判定機器、MIC菌液分注装置、全自動血液培養装置、細菌同定感受性検査機器、安全キャビネット、質量分析装置
病理検査室	(主な設備) 病理診断支援システム、自動染色装置、自動封入装置、自動免疫染色装置、臓器標本撮影装置、凍結切片作成装置
病理解剖室	(主な設備) 解剖台、遺体保存用冷蔵庫、臓器標本撮影装置、臓器保管室
研究室	(主な設備) シャーカステン、プロジェクター (移動式)、大型モニター
講義室	室数 2 室                      収容定員 130 人程度
図書室	室数 1 室                      蔵所数 4223 冊程度
救急用又は患者搬送用自動車	(主な設備) 酸素ボンベ、吸引器、折りたたみ式担架、無線機、人工呼吸器、ハートモニター、AED、シンリンジポンプ、SPO2モニター、輸液ポンプ 保有台数 2台
医薬品情報管理室	[専用室の場合]                      床面積 48.35 m <sup>2</sup> [共用室の場合]

(注) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

## 別紙2 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

(他の病院又は診療所から紹介された患者に対し医療を提供する体制が整備されていることを証する書類及び救急医療の提供実績)

## 1. 地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

地域医療支援病院 紹介率	56.0 %	算定 期間	平成26年4月1日 ~ 平成27年3月31日
地域医療支援病院 逆紹介率	79.9 %		
算出 根拠	A : 紹介患者の数		8,345人
	B : 初診患者の数		14,889人
	C : 逆紹介患者の数		11,898人

(注) 1 「地域医療支援病院紹介率」欄は、AをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 2 「地域医療支援病院逆紹介率」欄は、CをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 3 それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。

## 別紙 3 共同利用の実績

(地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用(共同利用)のための体制が整備されていることを証する書類)

## 1 共同利用の実績

1) 病床の共同利用	
・医療機関の延べ数	79医療機関
・うち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数	79医療機関
2) 医療機器の共同利用	
MRIの共同利用	
・医療機関の延べ数	451医療機関
・うち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数	412医療機関
CTの共同利用	
・医療機関の延べ数	151医療機関
・うち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数	112医療機関
RIの共同利用	
・医療機関の延べ数	8医療機関
・うち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数	8医療機関
骨密度の共同利用	
・医療機関の延べ数	113医療機関
・うち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数	113医療機関
3) 研修施設の共同利用	
・医療機関の延べ数	38療機関
・うち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数	38医療機関
3) 合計	
・医療機関の延べ数	840医療機関
・うち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数	762医療機関
4) 共同利用に係る病床の利用率	27.3%

(注) 前年度において共同利用を行った実績がある場合において、当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率を明記すること。

## 2 共同利用の範囲等

共同利用病床 6床
手術室
放射線機器 (CT・MRI・RI・骨塩定量)
内視鏡
図書室

(注) 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものを明記すること。

3 共同利用の体制

ア 共同利用に関する規定の有無  有  無

イ 利用医師等登録制度の担当者 氏名: [REDACTED]

職種: 地域医療連携課 係長

(注) 共同利用に関する規定が有る場合には、当該規定の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
共同利用の登録医療機関名簿に記載された医療機関数 医科 85施設 (うち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数...85施設)				
登録医療機関名簿は、別紙 1 のとおり				

注 当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

常時共同利用可能な病床数	6 床
--------------	-----

4 共同利用の実績(別紙3 国様式例第14)

(3) 登録医療機関の名簿

	医療機関名	開設者	住所	主たる診療科	地域医療支援 病院開設者との 経営上の関係
1	置塩泌尿器科クリニック		葵区呉服町1-1-2 スクエアビル8F	泌尿科	無
2	岡外科胃腸科医院		葵区呉本通西町39	外科・胃腸・整科	無
3	東泉クリニック		葵区呉服町1丁目20 2F	外科	無
4	宮田医院		駿河区国吉田4-24-17	消化科	無
5	山中整形外科		駿河区敷地1-28-6	整科	無
6	青山医院		葵区北1丁目10-18	内科・小科	無
7	あきやま呼吸器クリニック		葵区呉服町2-2-30	呼吸科	無
8	浅野医院		駿河区丸子3-12-64	外科・胃腸	無
9	石井内科医院		駿河区馬淵2-10-20	内科・循環科	無
10	板井クリニック		駿河区曲金7-7-19	外科	無
11	伊藤医院		葵区梅屋町1-7	耳科	無
12	岩はし内科医院		駿河区丸子2-2-8-5	内科・呼吸科	無
13	えいもと内科消化器科クリニック		葵区瀬名3-38-9	内科・消化科	無
14	岡本外科クリニック		駿河区曲金4-7-3	外科・胃腸	無
15	三枝クリニック・肛門科		葵区栄町1-1	外科・消化科・肛門	無
16	佐藤外科内科医院		葵区北安東3-3-28	内科・外科	無
17	杉浦内科		駿河区みずほ4-10-10	内科	無
18	田野医院		葵区千代田2-13-35	内科・小科	無
19	どもの整形外科クリニック		葵区上土1-1-71	整科	無
20	ニシナクリニック		葵区瀬名1-17-8	外科・神内科	無
21	水谷痛みのクリニック		葵区鷹匠1-11-15 MIC新静岡2F	麻科	無
22	森本内科循環器科		葵区新通1-11-5	内科・循環科	無
23	レディースクリニック古川		葵区安東3-10-5	産婦科	無
24	脇理一郎クリニック		葵区緑町5-3	内科・神内科	無
25	わたなべクリニック		駿河区南町6-16 パレルネッサンス104	内科・呼吸科・小科	無
26	ちょう内科医院		駿河区小鹿430-3	内科・消化科	無
27	静岡曲金クリニック		駿河区曲金3-5-5	内科・リウマチ科	無
28	イイダ眼科医院		葵区城北94	眼科	無
29	松木消化器内科クリニック		葵区千代田7-7-12	内科・消化科・胃腸	無
30	松成内科クリニック		葵区大岩本町7-1	内科・神内科・小科	無
31	かげやま医院		葵区相生町9-5	泌尿科・性病	無
32	高野外科胃腸科医院		駿河区中田1-7-11	胃腸・整科	無
33	宮田医院		駿河区国吉田4-24-17	神内科	無
34	まつとみクリニック		葵区上伝馬23-18	消化科・外科	無
35	トモノ医院		葵区東鷹匠町24	内科・外科	無
36	美和クリニック		葵区足久保口組127-7	内科・循環科	無
37	おかもとレディースクリニック		駿河区曲金4-7-3	産婦科	無
38	宮下医院		葵区羽鳥1-7-13	内科・消化科・循環科	無
39	宣城島内科医院		葵区唐瀬1-2-27	内科・循環科	無
40	柴山クリニック		駿河区登呂5-11-9	内科・循環科	無
41	さそう内科呼吸器科クリニック		葵区大鋸町2-5	内科・呼吸科	無
42	コスモス眼科医院		葵区昭府2-2-5	眼科	無
43	鈴木内科医院		葵区安倍口新田526-3	内科・呼吸科・循環科・小科	無
44	長谷通りクリニック		葵区安東1-21-9	内科・神内科・循環科	無
45	ときわ公園クリニック		葵区川辺町1-1-4 グラトシエル1F	内科・呼吸科	無
46	森田クリニック		葵区上足洗4-1-7	内科・消化科	無
47	袴田外科医院		葵区籠上13-20	外科・胃腸・肛門・放科	無
48	大石内科循環器科医院		葵区鷹匠2-6-1	内科・循環科	無
49	こじまクリニック内科・循環器科		葵区沓谷5-12-7	内科・循環科	無
50	小澤内科胃腸科		葵区瀬名川1-29-32	内科・胃腸科	無
51	川崎耳鼻咽喉科クリニック		葵区七間町13-1	耳鼻科	無
52	森園クリニック		駿河区見瀬216	耳鼻科	無
53	いとう耳鼻咽喉科		葵区千代田6丁目30-26	耳鼻科	無
54	大坪耳鼻咽喉科		葵区田町2丁目141-5	耳鼻科	無
55	矢島耳鼻咽喉科気管食道科医院		駿河区泉町2-3	耳鼻科	無
56	おさだ耳鼻科		駿河区丸子新田536	耳鼻科	無
57	長島耳鼻咽喉科医院		駿河区池田275-1	耳鼻科	無
58	大町耳鼻咽喉科医院		駿河区八幡5丁目7-34	耳鼻科	無

	医療機関名	開設者	住所	主たる診療科	地域医療支援 病院開設者との 経営上の関係
59	渡辺耳鼻咽喉科医院		駿河区寺田12-9	耳鼻科	無
60	野口耳鼻咽喉科医院		駿河区曲金3丁目3-33	耳鼻科	無
61	なかむら耳鼻咽喉科		葵区呉服町1丁目1-14 圭田ビル5階	耳鼻科	無
62	宮城島耳鼻咽喉科医院		葵区上足洗2丁目7-8	耳鼻科	無
63	南波耳鼻咽喉科医院		葵区瀬名中央3丁目28-17	耳鼻科	無
64	あさはた耳鼻科		葵区南1541-41	耳鼻科	無
65	清水産婦人科クリニック		葵区北安東5丁目28-1	産婦人科	無
66	内科 杉山医院		葵区水道町10-5	内科	無
67	司馬医院		葵区柴町2-7	整形外科	無
68	静岡みらいスポーツ・整形外科		駿河区栗原6-25 1F	整形・リウマチ	無
69	青木内科医院		清水区興津清見寺町143-17	内科・循科・小児	無
70	おおいしレディースクリニック		清水区押切2416	産婦人科	無
71	太田小児科医院		清水区巴町6-6	小児科	無
72	草薙土屋外科医院		清水区草薙1丁目25-35	外科	無
73	佐藤医院		清水区大坪2丁目3-12	内科・外科	無
74	杉山医院		清水区大手3丁目3-21	内科・外科・整形	無
75	竹内内科		清水区巴町2-5	内科・循科	無
76	土屋内科		清水区七ツ新屋2丁目7-29	内科・循科・消科	無
77	土屋医院		清水区三保340-10	外科・整形	無
78	中川内科小児科医院		清水区石川新町8-31	内科・小児	無
79	花みずき通り内科クリニック		清水区西高町4-6	内科・神内	無
80	村上小児科医院		清水区草薙一里山19-7	小児科	無
81	松永医院		清水区高橋南町7-68	内科	無
82	望月クリニック		清水区大沢町2-14	外科・泌尿科	無
83	渡辺外科医院		清水区草薙一里山3-33	外科・整形・皮膚	無
84	吉田クリニック		清水区銀座1-23	精神・心内	無
85	片山耳鼻咽喉科医院		清水区官加三551-5	耳鼻咽喉科	無

登録医療機関数 医科 85医療機関



別紙4 救急医療の提供の実績  
(救急医療を提供する能力を有することを証する書類)

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

医師	合計	91名			
	常勤	5名	専従	5名	
				救急科指導医	1名
				救急科専門医	2名
				外科専門医	1名
				内科認定医	1名
				プライマリ・ケア指導医	1名
	常勤	86名	非専従	86名	
				内科認定医	10名
				総合内科専門医	6名
				リウマチ専門医	1名
				血液指導医	1名
				呼吸器指導医	1名
				循環器専門医	1名
				不整脈専門医	1名
				神経内科専門医	1名
				認知症学会指導医	1名
				外科専門医	5名
				外科指導医	1名
				消化器外科学会指導医	1名
				緩和医療学会暫定指導医	1名
				脈管専門医	2名
				心臓血管外科修練指導者	1名
				形成外科学会専門医	2名
				産婦人科専門医	2名
				産婦人科暫定指導医	1名
				周産期暫定指導医	1名
				細胞診専門医	1名
				周産期専門医	1名
				耳鼻咽喉科専門研修指導医	1名
				気管食道科専門医	1名
				頭頸部がん専門医	1名

				耳鼻咽喉科専門医	1名
				小児科専門医	3名
				整形外科専門医	3名
				脊椎脊髄外科指導医	1名
				眼科専門医	1名
				脳神経外科専門医	2名
				泌尿器科指導医	1名
				麻酔科専門医	4名
看護師	合計	74名			
	常勤	69名	専従	69名	
				救急看護認定看護師	2名
	非常勤	5名	専従	5名	
医療従事者名簿は、別紙 2 のとおり					

No.	職種	氏名	勤務の態様		勤務時間	備考
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		

## 2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	23 床
専用病床	7 床

(注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

別紙 2

1. 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

※医師50歳以上は当直免除（一部例外有 産科、小児科、眼科、麻酔科等）

No.	職種	氏名	勤務の様態	勤務時間	備考	年数	認定
1	医師		常勤 専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	8.1	外科専門医 救急科指導医
2	医師		常勤 専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	10.9	救急科専門医 プライマリ・ケア指導医 認定内科医
5	医師		常勤 専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	9.0	救急科専門医
3	医師		常勤 専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	4.0	
4	医師		常勤 専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	4.0	
6	医師		常勤 非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	4.0	内科認定医 総合内科専門医
7	医師		常勤 非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	1.0	
8	医師		常勤 非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	3.0	内科認定医
9	医師		常勤 非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	3.0	内科認定医
10	医師		常勤 非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	1.0	内科認定医 総合内科専門医 呼吸器指導医
11	医師		常勤 非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	0.5	
12	医師		常勤 非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	1.0	
13	医師		常勤 非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	1.0	内科認定医 総合内科専門医
14	医師		常勤 非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	1.0	内科認定医 血液指導医
15	医師		常勤 非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	1.0	
16	医師		常勤 非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	6.5	内科認定医 総合内科専門医 リウマチ専門医
17	医師		常勤 非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	10.0	
18	医師		常勤 非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	5.9	
19	医師		常勤 非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	3.0	
20	医師		常勤 非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	2.0	内科認定医 総合内科専門医 神経内科専門医 認知症学会指導医
21	医師		常勤 非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	5.0	内科認定医 総合内科専門医 循環器専門医 不整脈専門医
22	医師		常勤 非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	5.0	内科認定医
23	医師		常勤 非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	12.8	小児科専門医
24	医師		常勤 非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	6.8	小児科専門医
25	医師		常勤 非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	8.0	小児科専門医
26	医師		常勤 非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	1.0	
27	医師		常勤 非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	0.4	外科専門医
28	医師		常勤 非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	4.0	外科専門医 脈管専門医
29	医師		常勤 非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	6.0	脳神経外科専門医
30	医師		常勤 非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	3.0	脳神経外科専門医
31	医師		常勤 非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	1.0	
32	医師		常勤 非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	15.9	外科専門医

No.	職種	氏名	勤務の様態		勤務時間	備考	年数	認定
								外科指導医 消化器外科学会指導医 緩和医療学会暫定指導医
33	医師		常勤	非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	0.2	外科専門医 脈管専門医 心臓血管外科修練指導者
34	医師		常勤	非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	4.0	外科専門医
35	医師		常勤	非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	2.0	
36	医師		常勤	非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	1.0	
37	医師		常勤	非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	1.0	
38	医師		常勤	非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	1.0	
39	医師		常勤	非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	0.5	
40	医師		常勤	非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	2.0	
41	医師		常勤	非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	3.0	
42	医師		常勤	非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	4.8	整形外科専門医 脊椎脊髄外科指導医
43	医師		常勤	非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	4.0	
44	医師		常勤	非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	0.7	
45	医師		常勤	非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	1.2	
46	医師		常勤	非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	1.7	
47	医師		常勤	非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	1.0	整形外科専門医
48	医師		常勤	非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	2.0	整形外科専門医
49	医師		常勤	非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	1.5	
50	医師		常勤	非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	1.0	形成外科学会専門医
51	医師		常勤	非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	1.0	形成外科学会専門医
52	医師		常勤	非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	18.8	産婦人科専門医 周産期暫定指導医
53	医師		常勤	非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	7.0	産婦人科暫定指導医 細胞診専門医
54	医師		常勤	非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	5.0	
55	医師		常勤	非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	5.0	産婦人科専門医 周産期専門医
56	医師		常勤	非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	3.0	耳鼻咽喉科専門研修指導医 気管食道科専門医 頭頸部がん専門医
57	医師		常勤	非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	1.0	
58	医師		常勤	非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	3.0	
59	医師		常勤	非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	4.0	耳鼻咽喉科専門医
60	医師		常勤	非専従	8:00~17:00	オンコール	6.8	眼科専門医
61	医師		常勤	非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	13.0	泌尿器科指導医
62	医師		常勤	非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	1.0	
63	医師		常勤	非専従	8:00~17:00	オンコール	5.2	麻酔科専門医
64	医師		常勤	非専従	8:00~17:00	オンコール	4.0	麻酔科専門医
65	医師		常勤	非専従	8:00~17:00	オンコール	4.8	麻酔科専門医
66	医師		常勤	非専従	8:00~17:00	オンコール	2.0	麻酔科専門医
67	医師		常勤	非専従	8:00~17:00	オンコール	0.8	
68	医師		常勤	非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	2.0	
69	医師		常勤	非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	2.0	
70	医師		常勤	非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	2.0	
71	医師		常勤	非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	2.0	
72	医師		常勤	非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	2.0	
73	医師		常勤	非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	2.0	

No.	職種	氏名	勤務の様態	勤務時間	備考	年数	認定
74	医師		常勤 非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	2.0	
75	医師		常勤 非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	2.0	
76	医師		常勤 非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	2.0	
77	医師		常勤 非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	2.0	
78	医師		常勤 非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	1.0	
79	医師		常勤 非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	1.0	
80	医師		常勤 非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	1.0	
81	医師		常勤 非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	1.0	
82	医師		常勤 非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	1.0	
83	医師		常勤 非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	1.0	
84	医師		常勤 非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	1.0	
85	医師		常勤 非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	1.0	
86	医師		常勤 非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	1.0	
87	医師		常勤 非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	1.0	
88	医師		常勤 非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	1.0	
89	医師		常勤 非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	1.0	
90	医師		常勤 非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	1.0	
91	医師		常勤 非専従	8:00~17:00	日直・当直・オンコール	1.0	

1. 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏名	勤務の態様		勤務時間	備考	従事年数
1	看護師		常勤	専従	8:30~17:00	日直・当直 救急病棟看護師長	35.0
2	看護師		常勤	専従	二交替	救急病棟	3.8
3	看護師		常勤	専従	二交替	救急病棟	12.8
4	看護師		常勤	専従	二交替	救急病棟	35.0
5	看護師		常勤	専従	変則三交替	救急病棟	35.0
6	看護師		常勤	専従	変則三交替	救急病棟	35.0
7	看護師		常勤	専従	二交替	救急病棟 救急看護認定看護師	17.3
8	看護師		常勤	専従	二交替	救急病棟	8.2
9	看護師		常勤	専従	二交替	救急病棟 救急看護認定看護師	15.5
10	看護師		常勤	専従	変則三交替	救急病棟	9.7
11	看護師		常勤	専従	二交替	救急病棟	8.0
12	看護師		常勤	専従	二交替	救急病棟	9.2
13	看護師		常勤	専従	二交替	救急病棟	7.9
14	看護師		常勤	専従	二交替	救急病棟	10.0
15	看護師		常勤	専従	二交替	救急病棟	5.8
16	看護師		常勤	専従	二交替	救急病棟	9.6
17	看護師		常勤	専従	二交替	救急病棟	7.9
18	看護師		常勤	専従	二交替	救急病棟	1.6
19	看護師		常勤	専従	二交替	救急病棟	5.2
20	看護師		常勤	専従	二交替	救急病棟	4.6
21	看護師		常勤	専従	二交替	救急病棟	5.0
22	看護師		常勤	専従	二交替	救急病棟	1.5
23	看護師		常勤	専従	二交替	救急病棟	4.0
24	看護師		常勤	専従	二交替	救急病棟	3.0
25	看護師		常勤	専従	8:30~17:00	救急病棟	1.9
26	看護師		常勤	専従	二交替	救急病棟	2.5
27	看護師		常勤	専従	二交替	救急病棟	2.1
28	看護師		常勤	専従	二交替	救急病棟	2.1
29	看護師		常勤	専従	二交替	救急病棟	1.9
30	看護師		常勤	専従	二交替	救急病棟	1.1
31	看護師		常勤	専従	二交替	救急病棟	1.1
32	看護師		常勤	専従	二交替	救急病棟	1.0
33	看護師		常勤	専従	二交替	救急病棟	1.0
34	看護師		常勤	専従	二交替	救急病棟	1.0
35	看護師		常勤	専従	二交替	救急病棟	1.0
36	看護師		常勤	専従	8:30~17:00	救急病棟	6.4
37	看護師		常勤	専従	8:30~17:00	日直・当直 3-4病棟看護師長	8.8
38	看護師		常勤	専従	変則二交替	3-4病棟	3.4
39	看護師		常勤	専従	変則二交替	3-4病棟	8.0
40	看護師		常勤	専従	変則二交替	3-4病棟	6.1
41	看護師		常勤	専従	変則二交替	3-4病棟	10.6
42	看護師		常勤	専従	変則二交替	3-4病棟	2.7
43	看護師		常勤	専従	変則二交替	3-4病棟	11.0
44	看護師		常勤	専従	変則二交替	3-4病棟	3.0
45	看護師		常勤	専従	変則二交替	3-4病棟	5.9
46	看護師		常勤	専従	変則二交替	3-4病棟	5.0
47	看護師		常勤	専従	変則二交替	3-4病棟	9.0
48	看護師		常勤	専従	変則二交替	3-4病棟	3.6
49	看護師		常勤	専従	変則二交替	3-4病棟	3.9
50	看護師		常勤	専従	変則二交替	3-4病棟	3.0
51	看護師		常勤	専従	変則二交替	3-4病棟	6.0
52	看護師		常勤	専従	変則二交替	3-4病棟	4.0

No.	職種	氏名	勤務の態様		勤務時間	備考	従事年数
53	看護師		常勤	専従	変則二交替	3-4病棟	4.0
54	看護師		常勤	専従	変則二交替	3-4病棟	3.7
55	看護師		常勤	専従	変則二交替	3-4病棟	3.0
56	看護師		常勤	専従	変則二交替	3-4病棟	2.2
57	看護師		常勤	専従	変則二交替	3-4病棟	2.0
58	看護師		常勤	専従	変則二交替	3-4病棟	1.7
59	看護師		常勤	専従	変則二交替	3-4病棟	1.4
60	看護師		常勤	専従	変則二交替	3-4病棟	1.0
61	看護師		常勤	専従	変則二交替	3-4病棟	1.0
62	看護師		常勤	専従	変則二交替	3-4病棟	1.0
63	看護師		常勤	専従	変則二交替	3-4病棟	3.0
64	看護師		常勤	専従	変則二交替	3-4病棟	1.0
65	看護師		非常勤	専従	8:30~15:30(週4日)	3-4病棟	2.7
66	看護師		常勤	専従	8:30~17:00	救急外来	9.9
67	看護師		常勤	専従	8:30~17:00	救急外来	2.7
68	看護師		常勤	専従	8:30~17:00	救急外来	23.3
69	看護師		常勤	専従	8:30~17:00	救急外来	12.0
70	看護師		常勤	専従	8:30~17:00	救急外来	1.4
71	看護師		非常勤	専従	16:30~翌8:30	救急外来	23.0
72	看護師		非常勤	専従	16:30~翌8:30	救急外来	9.0
73	准看護師		非常勤	専従	16:30~翌8:30	救急外来	24.7
74	准看護師		非常勤	専従	16:30~翌8:30	救急外来	22.4

### 3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
救命救急センター外来	274.51㎡	(主な設備) 患者監視装置、除細動器、AED、人工呼吸器、CT	可
救命救急センター病棟	390.726㎡	(主な設備) 血液ガス分析装置、超音波診断装置、患者監視装置、補助循環装置 (IABP・PCPS) 人工呼吸器	可
手術室	743㎡	(主な設備) 患者監視装置連動麻酔自動フローチャート、ビデオモニタリングシステム、血液ガス分析装置、マイクロスコープユニット	可
臨床検査部門	443.9㎡	(主な設備) 生化学自動分析装置、自動グリコヘモグロビン分析計、全自動免疫化学発光測定装置、全自動血液ガス分析装置、自動血球分類装置	可
放射線部門	365.83㎡	(主な設備) CR一般撮影装置、MRI、CT、血管撮影装置	可

### 4 備考

救急病院等を定める省令 (昭和39年厚生省令第8号) に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院 救急告示 (静岡県告示第636号)

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。  
既に、救急病院等を定める省令 (昭和39年厚生省令第8号) に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について (昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知) に基づき救急医療を実施している病院にあつては、その旨を記載すること。

### 5 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	5,508 人 ( 2,011 人)
上記以外の救急患者の数	6,795 人 ( 1,178 人)
合計	12,303 人 ( 3,189 人)

(注) それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。

括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

### 6 救急用又は患者輸送用自動車

救急用又は患者輸送用自動車	2 台
---------------	-----



5 救急医療の提供の実績（別紙4 国様式例第13）

平成26年度 救急車搬入数・入院件数調査

	H26.4	H26.5	H26.6	H26.7	H26.8	H26.9	H26.10	H26.11	H26.12	H27.1	H27.2	H27.3	合 計
①救急車搬入による患者数	412	403	406	404	458	410	449	493	564	609	422	478	5,508
①の内、入院した患者数(③)	141	152	139	167	148	153	167	180	207	226	165	166	2,011
②救急車搬入以外の患者数	513	559	511	570	591	537	513	543	720	737	471	530	6,795
②の内、入院した患者数(④)	98	80	92	107	93	93	104	115	110	107	82	97	1,178
患者数合計(①+②)	925	962	917	974	1,049	947	962	1,036	1,284	1,346	893	1,008	12,303
入院患者数合計(③+④)	239	232	231	274	241	246	271	295	317	333	247	263	3,189

## 別紙 5 地域医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

(地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明)

## 1 研修の内容

平成26年度	
救命に関する講習会	
開催述べ数	11回
研修参加延べ数	202人
内 当院参加数	202人 (医師 0人 医師以外 202人)
内 院外参加数	0人
若手医師向けセミナー	
開催述べ数	7回
研修参加延べ数	132人
内 当院参加数	114人 (医師 86人 医師以外 28人)
内 院外参加数	18人 (医師 18人 医師以外 0人)
医療安全に関する講習会	
開催述べ数	32回
研修参加延べ数	2,079人
内 当院参加数	2,059人 (医師 52人 医師以外 2,007人)
内 院外参加数	20人 (医師 5人 医師以外 15人)
その他	
開催述べ数	2回
研修参加延べ数	224人
内 当院参加数	203人 (医師 6人 医師以外 197人)
内 院外参加数	21人 (医師 0人 医師以外 21人)
総合計	
開催述べ数	52回
研修参加延べ数	2,637人
内 当院参加数	2,578人 (医師 144人 医師以外 2,434人)
内 院外参加数	59人 (医師 23人 医師以外 36人)
各研修会の目的、対象者、参加者数の実績等は、別紙 3のとおり	

## 2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	52 回
(2) (1) の合計研修者数	2,637 人

(注) 1 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注) 2 (2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

## 3 研修の体制

- ア 研修プログラムの有無  有・無
- イ 研修委員会設置の有無  有・無

ウ 研修指導者

研修指導者氏名	職種	診療科	役職等	臨床経験数	特記事項
	医師	神経内科	副院長	38年	臨床研修管理委員長
	医師	救急科	部長	15年	教育責任者
	医師	循環器科	部長	38年	
	医師	産婦人科	部長	37年	
	医師	内分泌代謝科	部長	34年	
	医師	放射線科	部長	32年	
	医師	病理部	部長	31年	
	医師	整形外科	部長	29年	
	医師	神経内科	部長	29年	
	医師	麻酔科	部長	28年	
	医師	神経内科	部長	27年	
	医師	血液内科	部長	25年	
	医師	内科	部長	24年	
	医師	小児科	部長	24年	
	医師	外科	部長	22年	
	医師	呼吸器科	部長	22年	
	医師	耳鼻咽喉科	副部長	12年	

(注) 教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
第一会議室	115.66㎡	(主な設備) スクリーン、音響設備一式、プロジェクター、ホワイトボード、演台
第二会議室	61.83㎡	(主な設備) 移動式スクリーン、移動式プロジェクター、ホワイトボード
第三会議室	31.75㎡	(主な設備) 長机6台、椅子18脚
第四会議室	44.60㎡	(主な設備) スクリーン、ホワイトボード
特別会議室	50.89㎡	(主な設備) スクリーン、大机1台、椅子17脚
研修室1	80.27㎡	(主な設備) 音響設備一式、プロジェクター、ホワイトボード
研修室2	51.20㎡	(主な設備) スクリーン、パソコン、大型モニター

平成26年度 講演会・研修会開催一覧 参加者

- 区分  
1 救命に関する講習会  
2 若手医師向けのセミナー  
3 医療安全に関する講習会  
4 その他

	開催日時	区分	会場 (会議室)	名称	目的	対象	合計	院内	内医師 (院内)	院外	内医師 (院外)
1	4月18日	1	第1	BLS・AED講習会 (大人)	緊急時の対応について	全て	17	17	0	0	0
2	5月16日	1	第1	BLS・AED講習会 (大人)	緊急時の対応について	全て	13	13	0	0	0
3	6月11日	1	第1	BLS・AED講習会 (大人)	緊急時の対応について	全て	17	17	0	0	0
4	7月9日	1	第1	BLS・AED講習会 (大人)	緊急時の対応について	全て	18	18	0	0	0
5	8月13日	1	第1	BLS・AED講習会 (大人)	緊急時の対応について	全て	18	18	0	0	0
6	9月10日	1	第1	BLS・AED講習会 (大人)	緊急時の対応について	全て	14	14	0	0	0
7	10月8日	1	第1	BLS・AED講習会 (大人)	緊急時の対応について	全て	21	21	0	0	0
8	11月12日	1	第1	BLS・AED講習会 (大人)	緊急時の対応について	全て	21	21	0	0	0
9	12月12日	1	第1	BLS・AED講習会 (大人)	緊急時の対応について	全て	22	22	0	0	0
10	1月14日	1	第1	BLS・AED講習会 (大人)	緊急時の対応について	全て	21	21	0	0	0
11	3月11日	1	第1	BLS・AED講習会 (大人)	緊急時の対応について	全て	20	20	0	0	0
12	9月17日	2	第1	第13回静岡若手医師のための腎セミナー	こうして僕はフィジカル・オタクになった	医師	18	18	18	0	0
13	7月12日	2	研1	若手医師のための感染症カンファレンス	肺炎	全て	16	12	12	4	4
14	12月6日	2	研1	若手医師のための感染症カンファレンス	英語でのカンファレンス	医師	23	16	16	7	7
15	9月22日	2	研1	若手医師向けセミナー	総合プロブレム方式 Dr. 栗本カンファレンス	医師	13	13	13	0	0
16	12月22日	2	研2	若手医師向けセミナー	総合プロブレム方式 Dr. 栗本カンファレンス	医師	15	15	15	0	0
17	1月20日	2	第1	若手医師向けセミナー	救命医療の最新: これだけは見過ごさない重要病態TOP100	全て	28	28	0	0	0
18	2月21日	2	研1	若手医師向けセミナー	84歳男性 敗血症性ショックの1例	医師	19	12	12	7	7
19	12月22日	3	第1	肺塞栓予防説明会	弾性ストッキングの履かせ方	看護師	28	28	0	0	0
20	1月23日	3	第1	肺塞栓予防説明会	弾性ストッキングの履かせ方	看護師	28	28	0	0	0
21	2月4日	3	第1	肺塞栓予防説明会	弾性ストッキングの履かせ方	看護師	22	22	0	0	0
22	2月10日	3	第1	肺塞栓予防説明会	弾性ストッキングの履かせ方	看護師	29	29	0	0	0
23	2月19日	3	第1	肺塞栓予防説明会	弾性ストッキングの履かせ方	看護師	33	33	0	0	0
24	4月16日	3	第1	平成26年度第1回RST研修会	人工呼吸器装着患者の鎮静と鎮痛について	全て	54	54	0	0	0
25	5月23日	3	第1	平成26年度第2回RST研修会	RST薬量管理・RSTにおける呼吸リハビリ	全て	40	40	0	0	0
26	8月7日	3	第1	平成26年度第3回RST研修会	人工呼吸器装着中の看護について	全て	31	31	0	0	0
27	3月19日	3	第1	平成26年度KYT発表会	危険に対する感受性を磨く	全て	142	142	2	0	0
28	5月30日	3	産業経済会館	平成26年度第1回院内感染対策全体研修	感染事例が示している課題と感染源がない病院にできること	全て	302	302	26	0	0
29	1月9日	3	産業経済会館	平成26年度第2回院内感染対策全体研修	感染対策のポイント	全て	197	192	6	5	4
30	8月28日	3	産業経済会館	平成26年度第1回医療安全全体研修会	クレーム対応～謝罪の仕方～	全て	326	320	13	6	1
31	12月17日	3	産業経済会館	平成26年度第2回医療安全全体研修会	医療事故ヒヤリハット情報と危険予知トレーニングの意義	全て	235	234	5	1	0
32	5月15日	3	第1	平成26年度第1回医療安全セミナー	深部静脈血栓症・肺血栓症予防	全て	85	85	0	0	0
33	5月26日	3	第1	平成26年度第2回医療安全セミナー	ME機器PMDAインシデント事例から	全て	42	42	0	0	0
34	6月10日	3	第1	平成26年度第3回医療安全セミナー	食中毒について	全て	45	45	0	0	0
35	7月2日	3	第1	平成26年度第4回医療安全セミナー	摂食嚥下障害看護の基礎	全て	58	58	0	0	0
36	7月25日	3	第1	平成26年度第5回医療安全セミナー	麻薬について	全て	29	28	0	1	0
37	8月12日	3	第1	平成26年度第6回医療安全セミナー	口腔ケアの重要性	全て	32	32	0	0	0
38	9月9日	3	第1	平成26年度第7回医療安全セミナー	摂食嚥下障害患者に適した食物形態と食事介助	全て	38	36	0	2	0
39	9月25日	3	第1	平成26年度第8回医療安全セミナー	大害対策	全て	49	49	0	0	0
40	10月6日	3	第1	平成26年度第9回医療安全セミナー	糖尿病用薬について	全て	15	13	0	2	0
41	10月30日	3	第1	平成26年度第10回医療安全セミナー	核医学検査と被爆について	全て	37	37	0	0	0
42	11月6日	3	第1	平成26年度第11回医療安全セミナー	トランスファーの勉強会	全て	16	16	0	0	0
43	11月26日	3	第1	平成26年度第12回医療安全セミナー	人工呼吸器フローチェックシート解説	全て	21	21	0	0	0
44	12月9日	3	第1	平成26年度第13回医療安全セミナー	抗がん剤の副作用 (悪心・嘔吐)	全て	29	28	0	1	0
45	1月15日	3	第1	平成26年度第14回医療安全セミナー	血液製剤種類と適応	全て	21	21	0	0	0
46	1月29日	3	第1	平成26年度第15回医療安全セミナー	造影剤と造影検査について	全て	17	17	0	0	0
47	2月17日	3	第1	平成26年度第16回医療安全セミナー	抗血栓薬について	全て	27	26	0	1	0
48	2月26日	3	第1	平成26年度第17回医療安全セミナー	除細動機について・ME機器アラーム対策	全て	29	29	0	0	0
49	3月10日	3	第1	平成26年度第18回医療安全セミナー	安全な食事の提供	全て	17	17	0	0	0
50	3月25日	3	第1	平成26年度第19回医療安全セミナー	眼科領域の外用药について	全て	5	4	0	1	0
51	6月5日	9	第1	NST研修会	食べたい思いをサポートするために私たちができること!	全て	161	142	1	19	0
52	11月28日	9	第1	NST研修会	患者さんから学んだリハビリの心	全て	63	61	5	2	0
							2,637	2,578	144	59	23

(国様式例第16)

別紙6 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法

管理責任者氏名	事務部部长	
管理担当者氏名	医療情報管理課課長	

	保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約	・医療情報管理課 ・各科外来 ・フィルム保管庫 ・平成18年4月より 外来分のみ電子カルテに 保管	入・外来共通の一患者一 ID方式但し電子カルテ 導入前の外来診療録は最 終来院別ID順管理。 入院診療録は患者IDに よる一元管理（下2桁別ID 順）
病院の管 理及び運 営に関する 諸記録	共同利用の実績	地域医療連携課
	救急医療の提供の実績	救急課
	地域の医療従事者の資質の向上 を図るための研修の実績	総務課
	閲覧実績	総務課
	紹介患者に対する医療提供及び 他の病院又は診療所に対する患 者紹介の実績の数を明らかにす る帳簿	地域医療連携課

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

## 別紙7 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

閲覧責任者氏名	事務部長 [REDACTED]
閲覧担当者氏名	総務課長 [REDACTED]
閲覧の求めに応じる場所	総務課
閲覧の手続の概要  閲覧申請書の提出 → 許可 → 会議室及び医療情報管理課にて閲覧	

前年度の総閲覧件数		0件
閲覧者別	医師	0件
	歯科医師	0件
	地方公共団体	0件
	その他	0件

## 別紙 8 医療法施行規則第9条19の委員会の開催の実績

委員会の開催回数	2 回
委員会における議論の概要	
<p>平成26年度 第一回静岡赤十字病院地域医療支援病院運営委員会</p> <p>日時 平成26年10月1日(水) 19:00~20:00</p> <p>場所 院内別館4階 特別会議室</p> <p>委員総数 15名</p> <p>出席委員数 13名</p> <p>議題 (配布資料及び議事録 別紙参照)</p> <p>1 実績報告</p> <p>①紹介患者に対する医療提供</p> <p>②共同利用の実績</p> <p>③救急医療の提供</p> <p>④地域の医療従事者に対する研修の実績</p> <p>⑤患者に対する相談体制</p> <p>2 当院の最近の活動報告</p> <p>①病診連携懇親会について</p> <p>②その他</p> <p>3 意見交換</p> <p>平成26年度 第二回静岡赤十字病院地域医療支援病院運営委員会</p> <p>日時 平成27年3月18日(水) 19:00~20:00</p> <p>場所 院内別館4階 特別会議室</p> <p>委員総数 15名</p> <p>出席委員数 13名</p> <p>議題 (配布資料及び議事録 別紙参照)</p> <p>1 実績報告</p> <p>①紹介患者に対する医療提供</p> <p>②共同利用の実績</p> <p>③救急医療の提供</p> <p>④地域の医療従事者に対する研修の実績</p> <p>⑤患者に対する相談体制</p> <p>2 当院の取組みについて</p> <p>3 意見交換</p>	

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

病院内各種委員会開催報告書

平成 26 年 10 月 1 日

院長 ████████ 様

協議会を下記の通り開催しましたので報告いたします。

幹事 ████████ 印  
書記 ████████ 印

委員会の名称	平成 26 年度 第 1 回 静岡赤十字病院地域医療支援病院 運営委員会	
日時・場所	平成 26 年 10 月 1 日 (水) 19:00~19:50 別館 4 階 特別会議室	
出席者氏名	運営委員 8 名 内部委員 7 名 計 15 名	
委員数 6名 内部委員数 7名 計 13名	運営委員長 ○院長 (委員長)	██████████
	外部委員 ○静岡市静岡医師会会長	██████████
	○静岡市保健所所長	██████████
	○静岡市薬剤師会会長	██████████
	○静岡市消防局救急課課長	██████████
	○日本赤十字社静岡県支部事務局長	██████████
	内部委員 ○副院長	██████████
	○副院長	██████████
	○副院長兼看護部長	██████████
	○事務部長	██████████
	○医療社会事業部アドバイザー	██████████
	○地域医療連携課長	██████████
	○地域医療連携係長	██████████
欠席者 2名	外部委員 ○静岡市清水医師会会長	██████████
	○静岡呉服町名店街理事長	██████████

◎決定された事項及びその内容・その他協議・連絡事項及びその他の内容

1.開会 19:00

2.挨拶 ████████ 委員長

3.委員紹介 幹事

4.議事

1) 実績報告

平成 25 年度及び平成 26 年 8 月までの実績報告

- ①紹介患者に対する医療提供
- ②共同利用の実績
- ③救急医療の提供
- ④地域の医療従事者に対する研修の実績
- ⑤患者に対する相談体制

2) 当院の最近の活動報告

- ①病診連携親睦会について
- ②その他

3) 質疑応答

○外部委員 救急医療の報告があったが、現状では救急車の件数は増えている。市では平成 22 年から 35 年までで救急車出動件数が、人口や年令のシミュレーションにより、11% 増えると予測している。

○外部委員 共同利用とはどのような運用になっているのか。

△内部委員 一部の病床を開放して、当院と診療所の医師が共同して患者の治療にあたる。主治医は、その時により、当院であったり、診療所であったりする。手術の執刀も同様である。



- 外部委員 今後救急車の出入口はどのようになるのか。
- △委員長 H28年1月には、今の裏側がアプローチになる。
- △内部委員 切り返さなくても通りぬけられるようになる。また、救急外来部分が広くなり、使いやすくなる。
- 外部委員 診療所としては、当番病院はまずは受入れていただきたい。そのことが重要である。
- △内部委員 病院によって温度差があるだろうが、当院は診ますので、紹介してください。
- 外部委員 分かりました。よろしく願います。
- △委員長 医師会の医師は増えているのか。
- 外部委員 ここ2～3年で耳鼻科、内科、整形外科の開業が増えている。静岡医師会の開業医も高齢化で50歳代が増えている。外科系が少なく困っていて絶対数が少ない。また、コンビニ受診が増えている。急病センターは場所を変えてから患者が増えている。
- 外部委員 薬剤師会では年3回の会合がある。近くの薬局をかかりつけとして、FAXを上手く利用されている。院外処方への運用変更は全体で70%を越えているが、病院により差がある。

5.閉会挨拶 ■■■副院長 19:50 終了

# 静岡赤十字病院 地域医療支援病院運営委員会次第

日時：平成26年10月1日(水) 19時00分

会場：静岡赤十字病院 別館4階 特別会議室

1. 開 会 司 会 地域医療連携課長 [REDACTED]

2. 挨 拶

静岡赤十字病院

地域医療支援病院運営委員長 [REDACTED]

3. 委員紹介

4. 議 事

1) 実績報告 (事務局)

- ① 紹介患者に対する医療提供
- ② 共同利用の実績
- ③ 救急医療の提供
- ④ 地域の医療従事者に対する研修の実績
- ⑤ 患者に対する相談体制

～質疑応答～

2) 当院の最近の活動報告 (事務局)

- ① 病診連携懇親会について
- ② その他

3) 意見交換

5. 閉 会 挨 拶 (20:00予定) [REDACTED] 副院長)

**静岡赤十字病院  
地域医療支援病院 運営委員会**

平成26年10月1日(水) 19時～20時00分

静岡赤十字病院 特別会議室

## 静岡赤十字病院 地域医療支援病院運営委員

### ○ 運営委員(敬称略)

・ 委員長	静岡赤十字病院	院長	[REDACTED]
・ 委員	静岡市静岡医師会	会長	[REDACTED]
・ //	静岡市清水医師会	会長	[REDACTED]
・ //	静岡市保健所	所長	[REDACTED]
・ //	静岡市薬剤師会	会長	[REDACTED]
・ //	静岡市消防局	救急課長	[REDACTED]
・ //	静岡呉服町名店街	理事長	[REDACTED]
・ //	日本赤十字社静岡県支部	事務局長	[REDACTED]

### ○ 内部委員

・ 委員	静岡赤十字病院	副院長	[REDACTED]
・ //	//	副院長	[REDACTED]
・ //	//	副院長	[REDACTED]
・ //	//	事務部長	[REDACTED]
・ //	//	医療社会事業部アドバイザー	[REDACTED]
・ //(幹事)	//	地域医療連携課長	[REDACTED]
・ //(書記)	//	地域医療連携係長	[REDACTED]

## 地域医療支援病院とは

かかりつけ医を支援し、地域医療の充実を図ることを目的として、2次医療圏毎に整備される病院（医療法4条第1項）施設の共同利用、地域医療従事者の研修なども行います。200床以上の国公立あるいは公的な病院、社会福祉法人等に認められ、紹介率・逆紹介率が一定の条件を満たすことを原則とし機能の分担と連携を目指します。

### I. 地域医療支援病院の承認条件

#### 1. 紹介率・逆紹介率（平成26年度改正）

- 1) 紹介率80%以上
- 2) 紹介率65%以上かつ逆紹介率40%以上
- 3) 紹介率50%以上かつ逆紹介率70%以上

平成25年度までの基準

- 1) 紹介率80%以上
- 2) 紹介率60%以上かつ逆紹介率30%以上
- 3) 紹介率40%以上かつ逆紹介率60%以上

#### 2. 共同利用の実施

#### 3. 救急医療の提供

#### 4. 地域の医療従事者に対する研修の実施

- ① 必要な図書を整備
- ② 地域の医師等を含めた症例検討会の開催
- ③ 医学・医療に関する講習会の開催
- ④ 研修目標・研修計画・研修指導體制を定めた研修プログラムの作成
- ⑤ 教育責任者、研修委員会の設置
- ⑥ 研修実施のための施設及び設備を有していること

#### 5. 患者に関する相談体制

#### 6. 公的病院等またはエイズ拠点病院または地域がん診療拠点病院

#### 7. 200床以上

#### 8. 病院の実状に応じた構造設備

集中治療室、化学・細菌及び病理の検査施設、病理解剖室、研究室、講義室、図書室、その他

#### 9. 診療に係る諸記録の管理と閲覧

#### 10. 病院の管理運営に係る諸記録の管理と閲覧

#### 11. 都道府県知事の承認

### II. 申請のための実績対象期間・毎年の業務報告

申請の前年度1年間 4月1日～3月31日

以後毎年、業務報告書提出・・・・インターネット上に公開

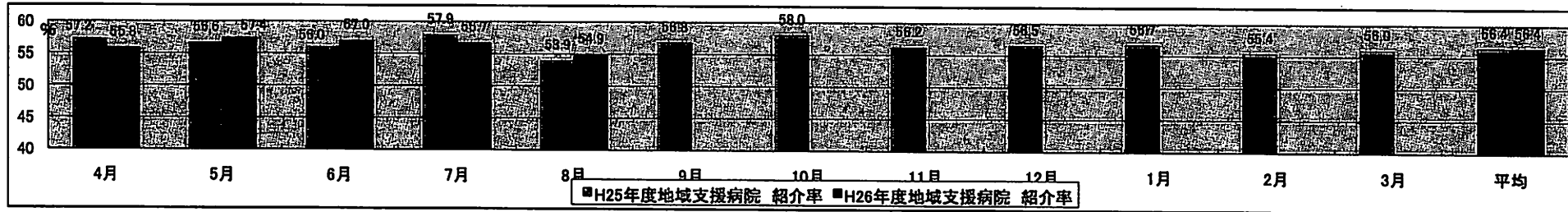
1. 紹介患者に対する医療の提供実績
2. 他の病院または診療所への患者紹介実績
3. 共同利用の実績
4. 救急医療の提供実績
5. 地域の医療従事者の資質向上をはかるための研修実績
6. 診療・病院の管理運営に関する諸記録の管理方法と閲覧方法・実績
7. 相談窓口における患者・家族等からの苦情・相談の実績

# 1.紹介患者に対する医療提供

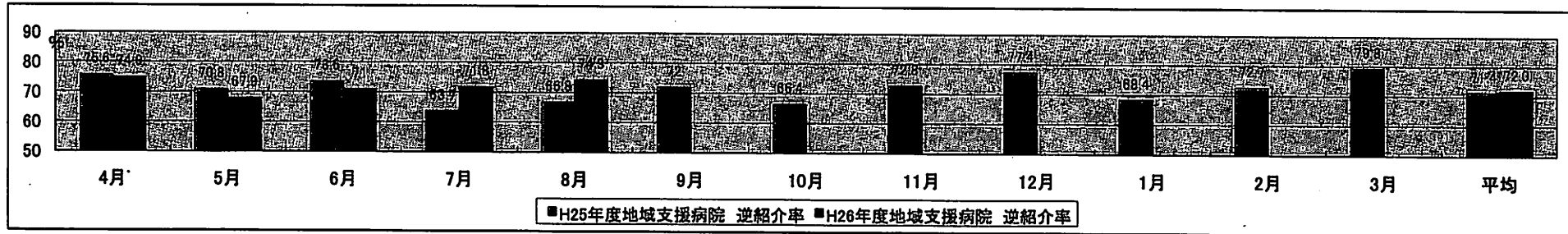
地域医療支援病院 紹介率・逆紹介率

月 年度	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	
	H25	H26	H25	H26	H25	H26	H25	H26	H25	H26	H25	H26	H25	H26	H25	H26	H25	H26	H25	H26	H25	H26	H25	H26	H25	H26
①初診の紹介患者	711	716	692	733	685	806	828	826	763	751	683		765		674		650		700		653		714		8518	3832
②初診の救急入院患者	83		100		95		109		103		102		95		92		107		105		91		104		1186	
③休日・夜間の初診の救急患者	399	328	496	392	426	379	452	382	459	395	445		368		394		508		558		293		385		5183	1876
④休日・夜間の初診の救急入院患者	66		100		73		86		75		81		66		70		83		80		65		70		915	
⑦平日初診救急患者		63		68		67		70		87																355
⑤初診患者(初診算定数)	1721	1674	1795	1737	1746	1860	1983	1908	1991	1851	1747		1786		1687		1764		1898		1571		1775		21464	9030
紹介率分母	1388	1283	1399	1277	1393	1414	1617	1456	1607	1369	1383	0	1484	0	1363	0	1339	0	1420	0	1343	0	1460	0	17196	6799
⑥地域医療支援病院逆紹介患者数		961		867		1004		1046		1017																4895
⑧逆紹介患者数(情報提供料算定)	1050		991		1025		1030		1074		996		986		992		1037		971		976		1158		12286	

地域医療支援病院紹介率の推移



地域医療支援病院逆紹介率の推移



地域医療支援病院紹介率 計算式

$$= \frac{\text{①初診の紹介患者}}{\text{⑤初診患者数} - (\text{③休日・夜間の初診の救急患者数} + \text{⑦平日初診救急患者})}$$

\* 救急に係る患者については全て紹介患者との重複を除く。(③⑦)

地域医療支援病院逆紹介率 計算式

$$= \frac{\text{⑧逆紹介患者数}}{\text{⑤初診患者数} - (\text{③休日・夜間の初診の救急患者数} + \text{⑦平日初診救急患者})}$$

旧計算式

地域医療支援病院紹介率 計算式

$$= \frac{\text{①初診の紹介患者} + \text{②救急入院患者数(初診の患者に限る.)}}{\text{⑤初診患者数} - (\text{③休日・夜間の初診の救急患者数} - \text{④休日・夜間の初診の救急入院患者数})}$$

\* 救急に係る患者については全て紹介患者との重複を除く。(②③④)

地域医療支援病院逆紹介率 計算式

$$= \frac{\text{⑧逆紹介患者数(診療情報提供料算定数)}}{\text{⑤初診患者数} - (\text{③休日・夜間の初診の救急患者数} - \text{④休日・夜間の初診の救急入院患者数})}$$

## 2. 共同利用の実績

### 開放型病床

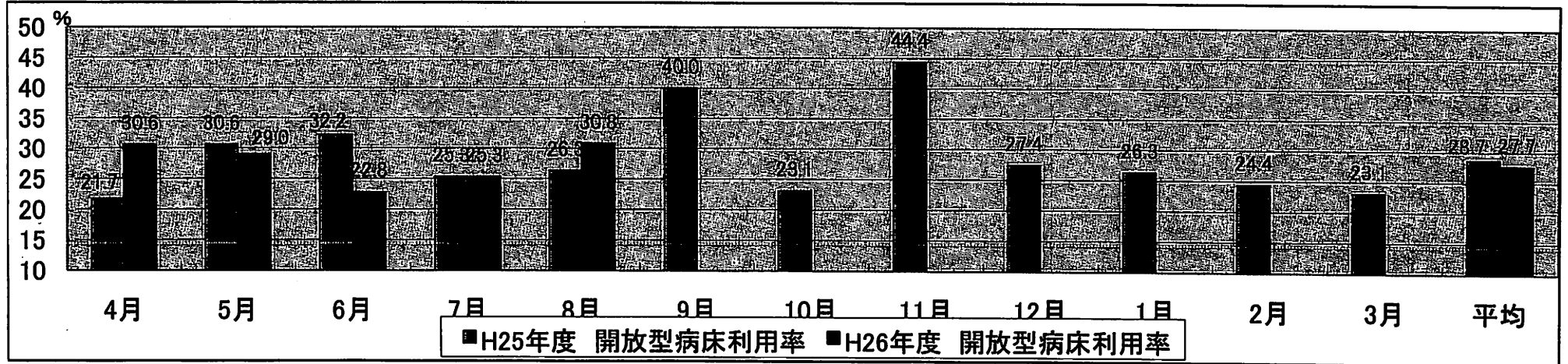
- ①病床数 6床
- ②登録診療所医師数 91名
  - 静岡医師会 73名
  - 清水医師会 17名
  - 上記以外 1名

### ③開放型病床利用状況

#### 利用患者延数

年度/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成25年度	39	57	58	47	49	72	43	80	51	49	41	43	629
平成26年度	43	54	41	47	57								242

#### 開放型病床利用率の推移



### ④手術室の共同利用による手術件数

年度/科	外科	整形外科	合計
平成25年度	2	16	18
平成26年度(4月～8月)	0	11	11

### ⑤放射線件数

年度/検査	CT	MRI	RI	骨塩定量等	合計
平成25年度	182	448	9	139	778
平成26年度(4月～8月)	76	210	3	65	354

平成25年度 講演会・研修会開催一覧 参加者2,514名(うち、院外166名)

	開催日時	曜日	会場 (会議室)	名称	目的	対象者	参加人数(院)	院外者 参加	参加人数(院)
1	4月19日	金	第1	BLS・AED講習会(大人)	緊急時の対応について	全て	11	可	0
2	4月24日	水	第4	認知症臨床セミナー	認知症で見られる行動障害・ 精神症状に対する介護指導 と治療の実際	全て	22	可	10
3	5月8日	水	第1、2	平成25年度第1回院内感染全体研修会	新型インフルエンザ等特措法 と 2013年鳥インフルエンザ対策	全て	311	不可	0
4	5月14日	火	第1、2	平成25年度第1回院内感染全体研修会	新型インフルエンザ等特措法 と 2013年鳥インフルエンザ対策	全て	215	不可	0
5	5月16日	木	第1	平成25年度第1回医療安全セミナー	NPPV導入からの在宅医療 へ	全て	20	可	1
6	5月17日	金	第1	BLS・AED講習会(大人)	緊急時の対応について	全て	13	可	0
7	5月22日	水	第1	EBM勉強会	臨床現場での二次資料の 効率の良い使い方	全て	10	不可	0
8	5月25日	土	第1	静岡若手医師のための感染症カンファレンス	肺炎の診断・原因菌の推定・ 抗菌薬治療	全て	19	可	17
9	5月29日	水	第1	平成25年度第2回医療安全セミナー	安全な食事提供 ～とろみのつけ方の実演	全て	46	可	0
10	6月11日	火	第1	平成25年第1回リスクマネージャー研修	医療安全活動の実際	全て	47	不可	0
11	6月21日	金	第1	BLS・AED講習会(大人)	緊急時の対応について	全て	10	可	1
12	6月24日	月	第1	平成25年度第3回医療安全セミナー	糖尿病薬について	全て	45	可	1
13	6月26日	水	第1	第11回若手医師のための腎セミナー	腎性貧血と臨床研修	全て	33	可	1
14	7月4日	木	第1、2	第5回NST症例報告会	病棟からの報告とリハビリ テーション科からの摂食機能 療法の活動報告	全て	65	可	7
15	7月9日	火	第1	平成25年度第4回医療安全セミナー	食中毒について	全て	53	可	2
16	7月19日	金	第1	BLS・AED講習会(大人)	緊急時の対応について	全て	5	可	3
17	7月24日	水	第1	平成25年度第5回医療安全セミナー	抗血栓薬について	全て	34	可	4
18	7月31日	水	研修室1.2	若手医師向けセミナー	整形外科勉強会	全て	30	可	3
19	8月1日	木	第1	感染対策セミナー	最近のワクチン事情について	全て	92	可	0
20	8月6日	火	研修室1	医療安全特別講座①	摂食・嚥下障害看護の基礎	全て	52	可	0
21	8月7日	水	第1	平成25年度第6回医療安全セミナー	呼吸療法について	全て	29	可	0
22	8月16日	金	第1	BLS・AED講習会(大人)	緊急時の対応について	全て	15	可	0
23	8月21日	水	研修室1	医療安全特別講座②	口腔ケアと安全な食事介助	全て	53	不可	0
24	8月26日	月	産業経 済	平成25年度 第1回医療安全全体研修会	クレーム対応	全て	260	可	0
25	9月3日	火	研修室1	医療安全特別講座③	摂食・嚥下訓練と食物形態	全て	44	不可	0
26	9月5日	木	第1	平成25年度第7回医療安全セミナー	地震防災・火災防災につい て	全て	48	不可	0
27	9月7日	土	第1	静岡若手医師のための感染症カンファレンス	皮膚軟部組織感染症	全て	11	可	16



	開催日時	曜日	会場 (会議室)	名称	目的	対象者	参加人数(院)	院外者 参加	参加人数(院)
28	9月9日	月	第1	Live on Nutrition Seminer	研修医・看護師のための 中心静脈カテーテルの挿入 と管理	全て	65	不可	0
29	9月13日	金	第1	第12回若手医師のための腎疾患セミナー	写真・動画でみる SpPin-itive Physical Findings	医師	16	可	1
30	9月17日	火	第1	BLS・AED講習会(大人)	緊急時の対応について	全て	9	可	4
31	9月18日	水	第1	平成25年度第8回医療安全セミナー	災害対策	全て	58	不可	1
32	9月18日	水	研修室1	総合プロブレム方式 Dr栗本カンファレンス	症例揭示+カンファレンス	医師	21	不可	0
33	9月19日	木	第1	片頭痛・群発頭痛講演会	もう頭痛で悩まない苦し まない	全て	60	可	33
34	9月20日	金	産業経済 会館	平成25年度第2回院内感染研修会	災害時の感染対策について	全て	198	可	3
35	10月8日	火	第1	平成25年度第9回医療安全セミナー	当院における輸血のインシ デント事例	全て	39	可	0
36	10月10日	木	研修室1	循環・呼吸セミナー	集中治療における循環管理	全て	37	可	10
37	10月18日	金	第1	BLS・AED講習会(大人)	緊急時の対応について	全て	11	可	0
38	10月30日	水	第1	平成25年度第10回医療安全セミナー	麻薬について	全て	34	可	0
39	11月7日	木	第1	院内勉強会	集中治療における呼吸管理	全て	31	可	5
40	11月15日	金	第1	BLS・AED講習会(大人)	緊急時の対応について	全て	6	可	0
41	11月12日	火	第1	平成25年第2回リスクマネージャー研修	RCA分析	全て	38	不可	0
42	11月13日	水	研修室1	第12回若手医師のための腎疾患セミナー	spPinな身体所見	医師	22	可	0
43	11月29日	金	第1	平成25年第11回医療安全セミナー	インフルエンザ・ノロウイルス 対策	全て	65	可	2
44	11月30日	土	研修室1	静岡若手医師のための感染症カンファレンス	感染症心内膜炎	全て	11	可	14
45	12月3日	火	第1	一般市民及び患者さんのための講演会	超高齢化社会に向け 豊かな生活を送るために	一般 市民	0	可	22
46	12月10日	火	第1、2	NST症例報告会	多職種連携の重要性ほか	全て	67	可	2
47	12月12日	木	第1	平成25年度第12回医療安全セミナー	呼吸療法について2	全て	26	可	0
48	12月14日	土	手術室	院内急変対応ワークショップ	リアルな状況での危機的状 況 およびその管理	全て	7	不可	0
49	1月15日	水	第1	平成25年度第13回医療安全セミナー	抗癌剤について	全て	16	可	1
50	1月17日	金	第1	BLS・AED講習会(大人)	緊急時の対応について	全て	13	可	0
51	1月23日	木	第1	平成25年度第14回医療安全セミナー	トランスファーの勉強会	全て	23	可	0
52	2月12日	水	第1	平成25年度第16回医療安全セミナー	輸液ポンプ・シリンジポンプ取 り扱い	全て	29	可	0
53	2月26日	水	研修室1	総合プロブレム方式 Dr栗本カンファレンス	症例揭示+カンファレンス	全て	19	可	2
							2514		166

※対象者「全て」…医師・コメディカル等

合計 2680

病院内各種委員会開催報告書

平成 27 年 3 月 18 日


院長 磯部 深 様

協議会を下記の通り開催しましたので報告いたします。

幹事  印  
書記  印

委員会の名称	平成 26 年度 第 2 回 静岡赤十字病院地域医療支援病院 運営委員会	
日時・場所	平成 27 年 3 月 18 日 (水) 18:55~19:55 別館 4 階 特別会議室	
出席者氏名	運営委員 8 名 内部委員 7 名 計 15 名	
委員数 6 名	運営委員長	○院長 (委員長)
内部委員数 7 名	外部委員	○静岡市静岡医師会会長 ○静岡市清水医師会会長 ○静岡市保健所所長 ○静岡市薬剤師会会長 ○静岡市消防局救急課課長 " 課長代理
計 13 名	内部委員	○副院長 ○副院長 ○副院長兼看護部長 ○事務部長 ○医療社会事業部アドバイザー ○地域医療連携課長 ○地域医療連携係長
欠席者 2 名	外部委員	○静岡呉服町名店街理事長 ○日本赤十字社静岡県支部事務局長

◎決定された事項及びその内容・その他協議・連絡事項及びその他の内容

- 1.開会 18:55
- 2.挨拶  委員長
- 3.委員紹介 幹事
- 4.議事
  - 1) 実績報告
 

平成 26 年 4 月から平成 27 年 2 月までの実績報告

    - ①紹介患者に対する医療提供
    - ②共同利用の実績
 

開放型病床 (オープンシステム) の運用説明
    - ③救急医療の提供
    - ④地域の医療従事者に対する研修の実績
    - ⑤患者に対する相談体制
  - 2) 当院の最近の活動報告
    - ①一般市民および患者さんの為の講演会
    - ②日本赤十字社第 3 ブロック支部主催の合同災害救護訓練
  - 3) 質疑応答 ○: 外部委員 △: 内部委員
 

○外部委員 開放型病床について、診療所から依頼をして手術にはどのくらいの期間を要するのか。

△内部委員 入院待ちは、手術室及び病室の空き状況や、病状により決定される。

○外部委員 放射線の依頼について検査をした結果には、コメントをつけているのか

- △内部委員 コメントはつけています。結果は出来次第報告している。
- 外部委員 研修の実績で報告された、院外参加の多かったNST研修会の講師は誰だったのか。
- △内部委員 NPO 法人口から食べる幸せを守る会 理事長である看護師■■先生です。
- 外部委員 摂食や嚥下は広い範囲での話になると思うので、当日はどのような内容の講義であったか知りたい。
- △内部委員 確認をする。
- 外部委員 感染防止対策加算のIをとっているか。
- △内部委員 とっている。
- 外部委員 職員の方には大いに、感染対策の会議に出席をしてほしい。
- 外部委員 合同の災害訓練をされたことについて、第3ブロック支部間では、お互いに援助することが出来るのか。  
人工透析の患者に対し、病院で対応している患者では無く、診療所で対応している患者に対しての受け入れはどうか。宮城沖の震災の時は、新潟に運んで対応をしたと聞いた。今までは相談が出来ず、個々での対応になっていたが、診療所間での連携が出来てきているので、病院には、大変な時にはお願いをしたいので、宜しくお願いする。
- △内部委員 今回は県下では、浜松・引佐、県外では長野日赤が訓練に参加しています。援助体制はある。
- 外部委員 看護部長に伺います。最近JNP(ジャパニーズ・ナース・プラクティション)診療看護師についてお聞きしたい。
- △内部委員 地域医療に貢献をする看護師を育てるとし、H27.10月からやっと研修が始まる予定であるが、すでに始めているところもある。
- 外部委員 ホームページを見ると開始していることがわかる。またアメリカのナースプラクティションが増え、研修医が押されてしまう場合があると聞いた。看護師の経験者にはかなわないといえる。
- △内部委員 病院サイドでは、まだ古い体質が残っている。救急の領域よりも、「医師の業務の軽減」を目的としてできたものである。
- 外部委員 在宅では、訪問看護師がキーになっている。  
認定看護師は増えているようですが、どのくらいの期間で取れるのか。
- △内部委員 半年の研修で取得出来る。
- 外部委員 認定看護師の方々に委員会へ出席いただきたいと考えている。
- △内部委員 認定看護師は指導や教育を主に活動している。
- 外部委員 一部の委員会では、介入をしているところもある。  
静岡清水それぞれで、地域包括センターと診療所のつながりを強化していきたい。  
緩和医療では始めており、医師も一緒に参加をしている。  
在宅専門のクリニック(24時間対応)ができているが、実際はうまくは行っていないようである。清水区の診療所でもやっているが、何の表示もしていない。  
24時間クリニックは静岡で開業することが出来るのか。
- 外部委員 厚生局、保健所に書類を提出されれば開業は出来る。
- 外部委員 大きな問題である。
- 外部委員 規制がかけられないので難しい問題である。
- △内部委員 在宅とならび、訪問看護や訪問診療が重要になってきているが、診療所の情報が少ないので医師会からの情報をいただきたい。
- 外部委員 清水医師会ではできている。
- 外部委員 静岡医師会は現在検討中である。
- △内部委員 病院の医師の顔を載せることや情報について賛否がある。
- 外部委員 在宅等、なにかあれば医師会へ連絡をしていただければ、対応をする。
- △内部委員 病院の医師の情報を載せたいが、掲載するデータはホームページ程度までであり、難しいのが現状です。

- △内部委員 高齢化や、がん末期等により、病院、診療所に通院できないという状態がある。職員が連携室から医師会へ連絡をして対処するのが望ましい。
- △内部委員 電話での連絡では情報が正確に伝えられないというリスクがあるので、FAXでのやり取りでお願いできないでしょうか。
- △内部委員 患者の家族が探すのが一番ではないのか。
- 外部委員 家族の形態がかわってきていて、核家族化しているので、家庭内独居が増えている。
- △内部委員 消防では独居の患者をどのようにしているのか。
- 外部委員 独居の患者は、司令課で対処している。時期的なものもあり、熱中症などで出勤要請が集中してしまう時は救急車が回らないこともある。
- △内部委員 3次救急よりも、2次や1次の患者が大半を占めているのが現状である。
- 外部委員 患者や家族には緊急な処置が不要な場合は、翌日まで待ってから受診するように勧めるなど、救急隊を呼ばないように指導はしているが、理解してもらうのは難しい。
- 外部委員 病院内に処方箋のFAXコーナーを設けている。FAX枚数の現状は減少傾向である。原因は病院横に㈱日本調剤薬局があるため、FAXせずに患者や家族が直接行っているためと思われる。
- 外部委員 救急隊にご理解いただき有難うございます。医師や看護師の方々にはお世話になっております。今後ともよろしく願います。  
看護部長にお聞きしたいのですが、診療看護師（JNP）の特定行為とはどのようなものがあるのか。
- △内部委員 今まで医師が行っていたことを、医師の指示により、看護師が行うことができるようになる。行為は、その病院の医師と診療看護師の比率によっても異なる。今やつと研修をすることが決定された段階である。
- 外部委員 在宅患者で診療看護師が同乗した場合、特定行為を行うことができるのか。
- △内部委員 医師の指示がある場合は行うことができる。しかし、まだ、看護協会の中でも特定行為については、賛否があり、検討中である。
- 外部委員 ありがとうございます。参考にさせていただく。

# 静岡赤十字病院 地域医療支援病院運営委員会次第

日時：平成27年3月18日(水) 19時00分

会場：静岡赤十字病院 別館4階 特別会議室

1. 開 会 司 会 地域医療連携課長 [REDACTED]

2. 挨 拶

静岡赤十字病院

地域医療支援病院運営委員長 [REDACTED]

3. 委員紹介

4. 議 事

1) 実績報告 (事務局)

- ① 紹介患者に対する医療提供
- ② 共同利用の実績
- ③ 救急医療の提供
- ④ 地域の医療従事者に対する研修の実績
- ⑤ 患者に対する相談体制

～質疑応答～

2) 当院の取り組みについて

3) 意見交換

5. 閉 会 挨 拶 (20:00予定) ([REDACTED] 副院長)

**静岡赤十字病院  
地域医療支援病院 運営委員会**

平成27年3月18日(水) 19時～20時00分

静岡赤十字病院 特別会議室

## 静岡赤十字病院 地域医療支援病院運営委員

### ○ 運営委員(敬称略)

・ 委員長	静岡赤十字病院	院長	████████████████████
・ 委員	静岡市静岡医師会	会長	████████████████████
・ //	静岡市清水医師会	会長	████████████████████
・ //	静岡市保健所	所長	████████████████████
・ //	静岡市薬剤師会	会長	████████████████████
・ //	静岡市消防局	救急課長	████████████████████
	//	(代)救急課参事	████████████████████
・ //	静岡呉服町名店街	理事長	████████████████████
・ //	日本赤十字社静岡県支部	事務局長	████████████████████

### ○ 内部委員

・ 委員	静岡赤十字病院	副院長	████████████████████
・ //	//	副院長	████████████████████
・ //	//	看護部長	████████████████████
・ //	//	事務部長	████████████████████
・ //	//	医療社会事業部アドバイザー	████████████████████
・ //	(幹事) //	地域医療連携課長	████████████████████
・ //	(書記) //	地域医療連携係長	████████████████████

## 地域医療支援病院とは

かかりつけ医を支援し、地域医療の充実を図ることを目的として、2次医療圏毎に整備される病院（医療法4条第1項）施設の共同利用、地域医療従事者の研修なども行います。200床以上の国公立あるいは公的な病院、社会福祉法人等に認められ、紹介率・逆紹介率が一定の条件を満たすことを原則とし機能の分担と連携を目指します。

### I. 地域医療支援病院の承認条件

#### 1. 紹介率・逆紹介率（平成26年度改正）

- 1) 紹介率80%以上
- 2) 紹介率65%以上かつ逆紹介率40%以上
- 3) 紹介率50%以上かつ逆紹介率70%以上

平成25年度までの基準

- 1) 紹介率80%以上
- 2) 紹介率60%以上かつ逆紹介率30%以上
- 3) 紹介率40%以上かつ逆紹介率60%以上

#### 2. 共同利用の実施

#### 3. 救急医療の提供

#### 4. 地域の医療従事者に対する研修の実施

- ① 必要な図書を整備
- ② 地域の医師等を含めた症例検討会の開催
- ③ 医学・医療に関する講習会の開催
- ④ 研修目標・研修計画・研修指導体制を定めた研修プログラムの作成
- ⑤ 教育責任者、研修委員会の設置
- ⑥ 研修実施のための施設及び設備を有していること

#### 5. 患者に関する相談体制

#### 6. 公的病院等またはエイズ拠点病院または地域がん診療拠点病院

#### 7. 200床以上

#### 8. 病院の実状に応じた構造設備

集中治療室、化学・細菌及び病理の検査施設、病理解剖室、研究室、講義室、図書室、その他

#### 9. 診療に係る諸記録の管理と閲覧

#### 10. 病院の管理運営に係る諸記録の管理と閲覧

#### 11. 都道府県知事の承認

### II. 申請のための実績対象期間・毎年の業務報告

申請の前年度1年間 4月1日～3月31日

以後毎年、業務報告書提出・・・・・・インターネット上に公開

1. 紹介患者に対する医療の提供実績
2. 他の病院または診療所への患者紹介実績
3. 共同利用の実績
4. 救急医療の提供実績
5. 地域の医療従事者の資質向上をはかるための研修実績
6. 診療・病院の管理運営に関する諸記録の管理方法と閲覧方法・実績
7. 相談窓口における患者・家族等からの苦情・相談の実績

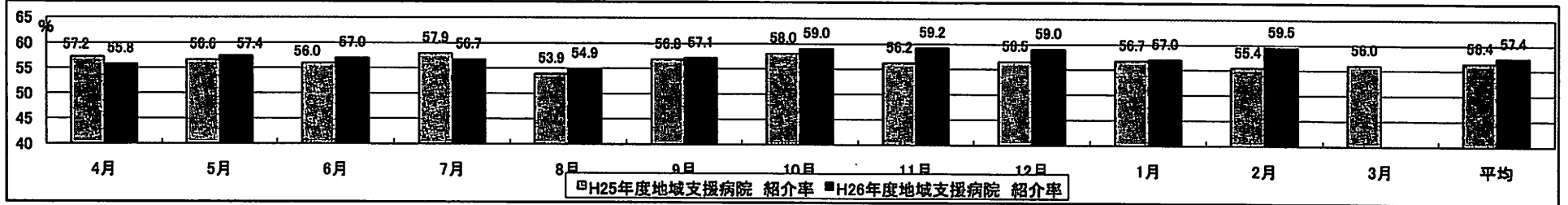


# 1. 紹介患者に対する医療提供

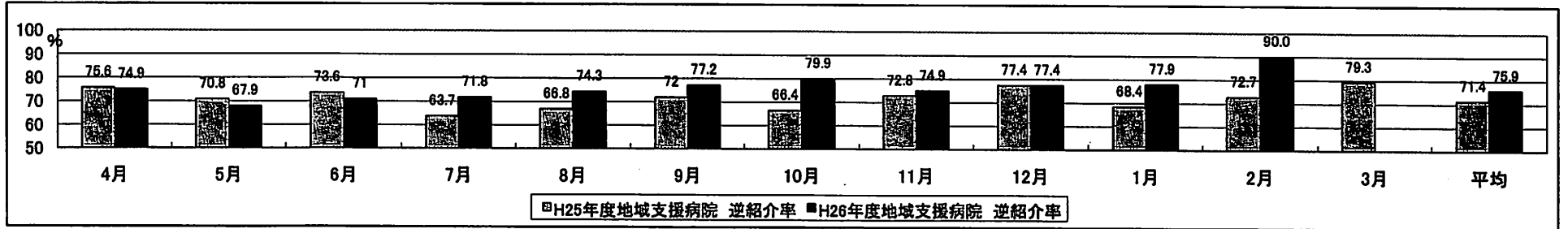
地域医療支援病院 紹介率・逆紹介率

月	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	
	H25	H26	H25	H26	H25	H26	H25	H26	H25	H26	H25	H26	H25	H26	H25	H26	H25	H26	H25	H26	H25	H26	H25	H26	H25	H26
地域医療支援病院 紹介患者数	67.2	65.8	56.6	57.4	56.0	57.0	57.9	56.7	53.9	54.9	56.8	57.1	58.0	59.0	56.2	59.2	56.5	59.0	56.7	57.0	55.4	59.5	56.0	56.0	56.4	57.4
①初診の紹介患者	711	716	692	733	685	806	828	826	763	751	683	729	765	775	674	675	650	727	700	670	653	682	714		8518	8090
②初診の救急入院患者	83		100		95		109		103		102		95		92		107		105		91		104		1186	
③休日・夜間の初診の救急患者	399	328	496	392	426	379	452	382	459	395	445	364	368	321	394	393	508	553	558	613	293	328	385		5183	4448
④休日・夜間の初診の救急入院患者	66		100		73		86		75		81		66		70		83		80		65		70		915	
⑦平日初診救急患者		63		68		67		70		87		81		98		85		104		84		99				906
⑤初診患者(初診算定数)	1721	1674	1795	1737	1746	1860	1983	1908	1991	1851	1747	1721	1786	1733	1687	1619	1764	1889	1898	1873	1571	1574	1775		21464	19439
紹介率分母	1388	1283	1399	1277	1393	1414	1617	1456	1607	1369	1383	1276	1484	1314	1363	1141	1339	1232	1420	1176	1343	1147	1460	0	17196	14085
地域医療支援病院 逆紹介患者数		961		867		1004		1046		1017		985		1050		855		954		916		1032				10687
⑥逆紹介患者数(診療情報提供料算定)	1050	1033	991	907	1025	1075	1030	1108	1074	1074	996	1036	986	1109	992	903	1037	1016	971	980	976	1099	1158		12286	11340

地域医療支援病院紹介率の推移



地域医療支援病院逆紹介率の推移



地域医療支援病院紹介率 計算式

$$= \frac{\text{①初診の紹介患者}}{\text{⑤初診患者数} - (\text{③休日・夜間の初診の救急患者数} + \text{⑦平日初診救急患者})}$$

地域医療支援病院逆紹介率 計算式

$$= \frac{\text{⑥逆紹介患者数}}{\text{⑤初診患者数} - (\text{③休日・夜間の初診の救急患者数} + \text{⑦平日初診救急患者})}$$

\* 救急に係る患者については全て紹介患者との重複を除く。(③⑦)

旧計算式

地域医療支援病院紹介率 計算式

$$= \frac{\text{①初診の紹介患者} + \text{②救急入院患者数(初診の患者に限る.)}}{\text{⑤初診患者数} - (\text{③休日・夜間の初診の救急患者数} - \text{④休日・夜間の初診の救急入院患者数})}$$

地域医療支援病院逆紹介率 計算式

$$= \frac{\text{⑥逆紹介患者数(診療情報提供料算定数)}}{\text{⑤初診患者数} - (\text{③休日・夜間の初診の救急患者数} - \text{④休日・夜間の初診の救急入院患者数})}$$

\* 救急に係る患者については全て紹介患者との重複を除く。(②③④)

## 2. 共同利用の実績

開放型病床

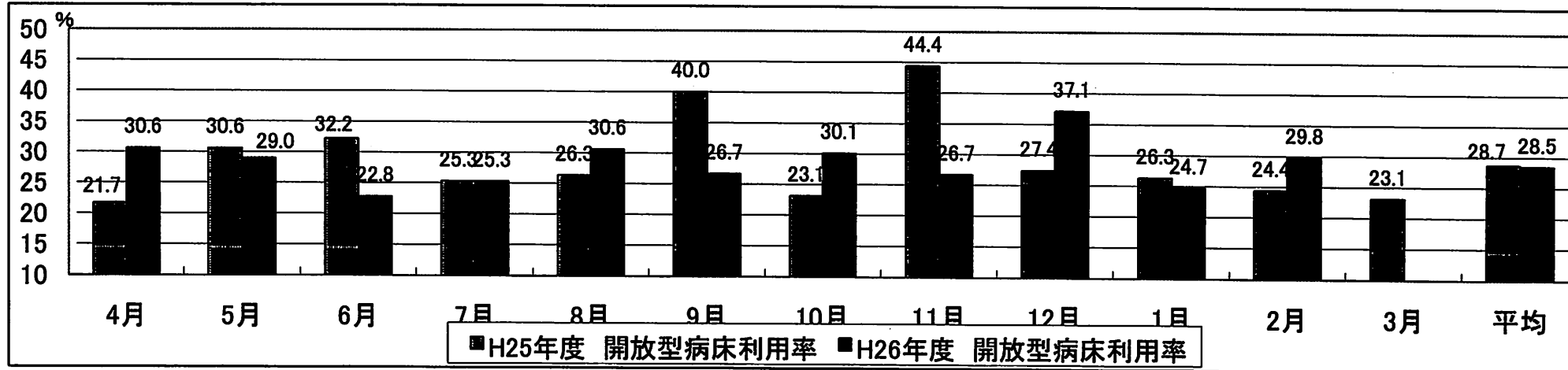
- ①病床数 6床
- ②登録診療所医師数 91名
  - 静岡医師会 73名
  - 清水医師会 17名
  - 上記以外 1名

③開放型病床利用状況

利用患者延数

年度/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成25年度	39	57	58	47	49	72	43	80	51	49	41	43	629
平成26年度	43	54	41	47	57	48	56	48	69	46	50		559

開放型病床利用率の推移



④手術室の共同利用による手術件数

年度/科	外科	整形外科	合計
平成25年度	2	16	18
平成26年度(4月~2月)	0	26	26

⑤放射線件数

年度/検査	CT	MRI	RI	骨塩定量等	合計
平成25年度	182	448	9	139	778
平成26年度(4月~2月)	141	418	7	105	671

平成26年度 講演会・研修会開催一覧 / H27.2 参加者2,274名(うち、院外36名)

	開催日時	曜日	会場 (会議室)	名称	目的・講演内容	対象者	参加人数 合計	院外者 参加	参加人数 (院外)
1	4月16日	水	第1	平成26年第1回RST研修会	麻酔科勉強会	全て	54	可	0
2	4月18日	金	第1	BLS・AED講習会(大人)	緊急時の対応について	全て	17	可	0
3	5月15日	木	第1	平成26年度第1回医療安全セミナー	深部静脈血栓症・肺血栓塞栓症予防	全て	85	不可	0
4	5月16日	金	第1	BLS・AED講習会(大人)	緊急時の対応について	全て	13	可	0
5	5月23日	金	第1	平成26年度第2回RST研修会	RST栄養管理・RSTにおける呼吸リハビリ	全て	40	可	0
6	5月26日	月	第1	平成26年度第2回医療安全セミナー	ME機器PMDAインシデント事例から	全て	42	可	0
7	5月30日	金	産経	平成26年度第1回院内感染対策全体研修	感染症例が果たしている機能と感染症科がない病院にできること	全て	302	不可	0
8	6月5日	木	第1	NST研修会	食べたい願いをサポートするために私たちができること!	全て	161	可	19
9	6月10日	火	第1	平成26年度第3回医療安全セミナー	食中毒について	全て	45	可	0
10	6月11日	水	第1	BLS・AED講習会(大人)	緊急時の対応について	全て	17	可	0
11	6月26日	木	第1	平成26年度第1回リスクマネージャー研修	よくわかる医療安全	リスクマネージャー	61	不可	0
12	7月2日	月	第1	平成26年度第4回医療安全セミナー	摂食嚥下障害看護の基礎	全て	58	可	0
13	7月9日	水	第1	BLS・AED講習会(大人)	緊急時の対応について	全て	18	可	0
14	7月25日	金	第1	平成26年度第5回医療安全セミナー	麻薬について	全て	28	可	0
15	8月7日	木	第1	平成26年度第3回RST研修会	人工呼吸器装着中の看護について	全て	31	可	0
16	8月12日	火	第1	平成26年度第6回医療安全セミナー	口腔ケアの重要性	全て	32	可	0
17	8月13日	水	第1	BLS・AED講習会(大人)	緊急時の対応について	全て	18	可	0
18	8月28日	木	産経	平成26年度第1回医療安全全体研修会	クレーム対応～謝罪の仕方～	全て	326	可	6
19	9月9日	火	第1	平成26年度医療安全セミナー	摂食嚥下障害患者に適した食物形態と食事介助	全て	38	可	2
20	9月10日	水	第1	BLS・AED講習会(大人)	緊急時の対応について	全て	14	可	0
21	9月17日	水	第1	第13回静岡若手医師のための腎セミナー	こうして僕はフィジカル・オタクになった	医師	18	可	0
22	9月25日	木	第1	平成26年第8回医療安全セミナー	大害対策	全て	49	可	0
23	10月30日	木	第1	平成26年度第10回医療安全セミナー	核医学検査と被爆について	全て	37	可	0
24	11月6日	木	第1	平成26年度第11回医療安全セミナー	トランスファーの勉強会	全て	16	可	0
25	11月20日	木	第1	第2回リスクマネージャー研修	Team STEPPSについて	リスクマネージャー	44	不可	0
26	11月26日	水	第1	平成26年度第12回医療安全セミナー	人工呼吸器フローチェックシート解説	全て	21	不可	0
27	11月28日	金	第1	NST研修会	患者さんから学んだリハビリの心	全て	61	可	2
28	12月9日	水	第1	抗がん剤の副作用(悪心・嘔吐)	抗がん剤の副作用	全て	29	可	1
29	12月12日	水	第1	BLS・AED講習会(大人)	緊急時の対応について	全て	22	不可	0
30	12月17日	水	産経	平成26年度第2回医療安全全体研修	医療事故ヒヤリハット情報と危険予知トレーニングの意義	全て	235	可	1
31	12月22日	月	第1	肺塞栓予防説明会	弾性ストッキングの履かせ方	看護師	28	不可	0
32	1月9日	金	産経	第2回院内感染対策全体研修	感染対策のポイント	全て	197	可	5
33	1月15日	木	第1	第14回医療安全セミナー	血液製剤種類と適応	全て	21	可	0
34	1月23日	金	第1	肺塞栓予防説明会	弾性ストッキングの履かせ方	看護師	28	不可	0
35	1月29日	木	第1	第15回医療安全セミナー	造影剤と造影検査について	全て	17	可	0
36	2月4日	水	第1	肺塞栓予防説明会	弾性ストッキングの履かせ方	看護師	22	不可	0
37	2月10日	火	第1	肺塞栓予防説明会	弾性ストッキングの履かせ方	看護師	29	不可	0

2274

36

## 別紙9 患者相談の実績

患者相談を行う場所	ア. 相談室 相談窓口 イ. 総務課 ウ. 医療安全推進室 エ. 医療社会事業部
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	ア. 相談室：看護師1名 相談窓口 イ. 総務課：事務員2名 ウ. 医療安全推進室：看護師2名、事務員2名 エ. 医療社会事業部：社会福祉士4名
患者相談件数	28,836 件
患者相談の概要	
①健康相談（一般的な相）	8,123件
②医療行為・医療事故・情報公開	59件
③診療報酬等の費用負担	1,319件
④職員の対応・接遇	42件
⑤病院の設備、人員、運営体制等	88件
⑥その他	19,205件
合計	28,836件
	その他 内訳 家族関係 865件 在宅介護 4,406件 療養生活 464件 就労・職場 19件 就学・教育 2件 虐待・暴力 107件 受診・受療 1,177件 転院 7,919件 他施設利用 3,559件 心理的問題 174件 他福祉関係法 513件
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築中で設備についての内容が増えている為、新病院建築課に患者の意見を伝えている。</li> <li>・ 患者への接遇として、全職員対象の接遇研修を実施している。</li> </ul>	

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

相談窓口における患者・家族等からの苦情・相談の実績報告

部署	医療安全推進室			医療社会事業部			総務課			相談室		
相談方法	御意見箱			電話相談・面接			電話相談・面接			電話相談・面接		
	H24	H25		H24	H25		H24	H25		H24	H25	
総数	254	140	総数	17433	16869	総数	62	43	総数	8768	8130	
接遇	82	52	家族関係	843	1138	接遇	19	11	受診相談	8174	7458	
診療内容	37	14	在宅介護	3822	3706	診療内容	21	17	看護相談	594	672	
待ち時間	21	20	療養生活	464	625	待ち時間	5	6				
環境・設備	44	26	経済的問題	1057	876	環境・設備	0	1				
駐車料金	6	2	就労・職場	61	36	駐車料金	2	0				
個人情報	5	1	就学・教育	6	6	紛失物	1	0				
病院食	14	4	虐待・暴力	79	78	その他	14	8				
その他	45	21	受診・受療	1155	1637							
			転院(医療機関)	4955	4697							
			他施設利用	3204	2716							
			心理的問題	274	284							
			他福祉関係法	1479	1061							
			その他	34	9							

○相談内容・件数

○

相談窓口における患者・家族等からの苦情・相談の実績報告

部署	医療安全推進室			医療社会事業部			総務課			相談室		
相談方法	御意見箱			電話相談・面接			電話相談・面接			電話相談・面接		
	H25	H26 (H27.2)		H25	H26 (H27.2)		H25	H26 (H27.2)		H25	H26 (H27.2)	
総数	140	69	総数	16869	0	総数	43	78	総数	8130	7442	
接遇	52	23	家族関係	1138		接遇	11	15	受診相談	7458	6911	
診療内容	14	7	在宅介護	3706		診療内容	17	26	看護相談	672	531	
待ち時間	20	5	療養生活	625		待ち時間	6	3				
環境・設備	26	21	経済的問題	876		環境・設備	1	2				
駐車料金	2	0	就労・職場	36		駐車料金	0	1				
個人情報	1	0	就学・教育	6		紛失物	0	1				
病院食	4	5	虐待・暴力	78		その他	8	30				
その他	21	8	受診・受療	1637								
			転院(医療機関)	4697								
			他施設利用	2716								
			心理的問題	284								
			他福祉関係法	1061								
			その他	9								

○ 相談内容・件数

○

## 別紙10 その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類

## 1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 日本医療機能評価機構 平成10年11月16日 一般病棟種別B 平成21年3月16日 一般病院Ver. 5.0	

(注)医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

## 2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
・情報発信の方法、内容等の概要 1) 病院HPにて、地域医療連携、地域医療支援病院について情報発信している。適宜 2) メディネットにて、その他院内の患者に向けて広報している。月2回 年24回 3) メルマガジンにて、院外の患者に向けて広報している。月1回 年12回 4) 日赤Newsにて、患者に向けて当院の旬の情報を広報している。2～3月に1回 年5回	

## 3 退院調整部門

① 退院調整部門の有無	有・無																							
・退院調整部門の概要 担当課 : 医療社会事業部 (医療社会事業課、退院支援課、地域医療連携課) 職員数 : 医療社会事業課 (社会福祉士5名) 退院支援課 (看護師2名 訪問看護師3名) 地域医療連携課 (事務4.5名) 業務内容 <table style="width:100%; border:none;"> <tr> <td style="vertical-align:top;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別退院調整</li> <li>・在宅療養患者の訪問看護</li> <li>・入院中患者の外泊支援</li> <li>・地域医療連携に関する業務</li> </ul> </td> <td style="vertical-align:top;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別外来療養支援</li> <li>・退院前訪問による相談、療養指導</li> <li>・退院支援を行う病棟看護師への指導、支援</li> <li>・入院患者のベッド調整</li> </ul> </td> </tr> </table>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別退院調整</li> <li>・在宅療養患者の訪問看護</li> <li>・入院中患者の外泊支援</li> <li>・地域医療連携に関する業務</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別外来療養支援</li> <li>・退院前訪問による相談、療養指導</li> <li>・退院支援を行う病棟看護師への指導、支援</li> <li>・入院患者のベッド調整</li> </ul>																					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別退院調整</li> <li>・在宅療養患者の訪問看護</li> <li>・入院中患者の外泊支援</li> <li>・地域医療連携に関する業務</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別外来療養支援</li> <li>・退院前訪問による相談、療養指導</li> <li>・退院支援を行う病棟看護師への指導、支援</li> <li>・入院患者のベッド調整</li> </ul>																							
平成26年度の退院支援に係る実績 <table style="width:100%; border:none;"> <tr> <td>・病棟より依頼のあった退院支援患者数</td> <td>1,650名 (退院患者総数の18.2%)</td> </tr> <tr> <td>①うち退院調整加算数</td> <td>1,000件</td> </tr> <tr> <td>②介護支援連携指導料数</td> <td>278件</td> </tr> <tr> <td>③地域連携計画管理料数</td> <td>168件</td> </tr> <tr> <td>④退院時共同指導料数</td> <td>70件</td> </tr> </table> ・病棟より支援依頼のあった1,650名の内訳 <table style="width:100%; border:none;"> <tr> <td>男女比</td> <td>男性 50.8%</td> <td>女性 49.2%</td> </tr> <tr> <td>年齢構成</td> <td>60歳未満 7.9%</td> <td>60歳代 11.5%</td> <td>70歳代 27.6%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>80歳代 37.8%</td> <td>90歳以上 15.3%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(75歳未満 31.1%</td> <td>75歳以上68.9%)</td> </tr> </table> 入院期間 : 14日以内 19.8% 15～30日 41.2% 31日以上39.0%		・病棟より依頼のあった退院支援患者数	1,650名 (退院患者総数の18.2%)	①うち退院調整加算数	1,000件	②介護支援連携指導料数	278件	③地域連携計画管理料数	168件	④退院時共同指導料数	70件	男女比	男性 50.8%	女性 49.2%	年齢構成	60歳未満 7.9%	60歳代 11.5%	70歳代 27.6%		80歳代 37.8%	90歳以上 15.3%		(75歳未満 31.1%	75歳以上68.9%)
・病棟より依頼のあった退院支援患者数	1,650名 (退院患者総数の18.2%)																							
①うち退院調整加算数	1,000件																							
②介護支援連携指導料数	278件																							
③地域連携計画管理料数	168件																							
④退院時共同指導料数	70件																							
男女比	男性 50.8%	女性 49.2%																						
年齢構成	60歳未満 7.9%	60歳代 11.5%	70歳代 27.6%																					
	80歳代 37.8%	90歳以上 15.3%																						
	(75歳未満 31.1%	75歳以上68.9%)																						
社会福祉士が対応した相談・援助・調整数 延べ20,524 (単位:件) <table style="width:100%; border:none;"> <tr> <td>内訳</td> <td>865</td> </tr> <tr> <td>・家族関係に関すること</td> <td>4,406</td> </tr> <tr> <td>・在宅介護・地域生活に関すること</td> <td>464</td> </tr> <tr> <td>・療養生活に関すること</td> <td>1,319</td> </tr> <tr> <td>・経済的問題に関すること</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>・就労・職場環境に関すること</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>・教育環境・就学に関すること</td> <td></td> </tr> </table>		内訳	865	・家族関係に関すること	4,406	・在宅介護・地域生活に関すること	464	・療養生活に関すること	1,319	・経済的問題に関すること	19	・就労・職場環境に関すること	2	・教育環境・就学に関すること										
内訳	865																							
・家族関係に関すること	4,406																							
・在宅介護・地域生活に関すること	464																							
・療養生活に関すること	1,319																							
・経済的問題に関すること	19																							
・就労・職場環境に関すること	2																							
・教育環境・就学に関すること																								

・虐待・暴力・人権に関すること	107
・受診・受療に関すること	1,177
・転院に関すること（医療機関）	7,919
・他施設利用に関すること（医療機関以外の全ての施設）	3,559
・心理・情緒的問題に関すること	174
・他福祉関係法利用に関すること	513

#### 4 地域連携を促進するための取組み

① 地域連携クリティカルパスの策定	有・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容</li> <li>・地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み</li> </ul>	
1. イーツーネット脳卒中医療連携システム	
1) 内容	
<p>急性期病院・回復期病院・診療所（維持期）の循環型医療連携。</p>	
<p>連携施設は共通の医療連携パス（脳卒中地域連携診療計画書）と所定の診療情報提供書（紹介状）により情報を共有している。</p>	
<p>対象疾患：脳梗塞、脳出血。</p>	
<p>診療所で経過観察中の患者には急性期病院の地域医療連携室が診療所宛てに急性期病院の受診案内を送付するなど、再発のリスクを軽減するシステムとなっている。</p>	
2) 実績	
<p>登録患者数 平成26年度 146件 延数 1,567件</p>	
3) 普及させるための取組み	
<p>名称：イーツーネット脳卒中医療連携総会及び準備会</p>	
<p>出席： 院内 準備会 5名 総会 18名</p>	
<p>          院外 医師会、急性期 4病院 回復期 4病院</p>	
<p>回数： 準備会 2回 総会 2回</p>	
<p>院内においては、病院情報システム内の文書管理システムを用いて情報の入力負担軽減に努めるとともに、各部署間の情報共有がスムーズに行なわれるように配慮している。</p>	
<p>院外においては総会と総会前の準備会で関連施設の情報共有及び問題点の洗い出しと対策について協議している。</p>	
2. 大腿骨頸部骨折医療連携システム	
1) 内容	
<p>急性期病院・回復期病院・診療所（維持期）の循環型医療連携。</p>	
<p>連携施設は共通の医療連携パス（大腿骨頸部骨折地域連携診療計画書）と所定の診療情報提供書（紹介状）により情報を共有している。</p>	
<p>対象患者：大腿骨頸部骨折のうち「骨接合術」及び「人工骨頭置換術」を施行した患者。</p>	
<p>受傷後の出来る限り早い時期に適切に手術、リハビリテーションを行い、受傷前の身体機能を取り戻すことが出来るように効率的かつ効果的に設計されている。</p>	
2) 実績	
<p>登録患者数 平成26年度 200件 延数 839件</p>	
3) 普及させるための取組み	
<p>名称：大腿骨頸部骨折地域連携クリニカルパス合同会議</p>	
<p>出席： 院内 7名</p>	
<p>          院外 医師会、急性期 4病院 回復期 4病院</p>	
<p>回数： 3回</p>	
<p>名称：大腿骨頸部骨折地域連携クリニカルパス総会</p>	
<p>出席： 院内 19名</p>	
<p>          院外 医師会、急性期 4病院 回復期 4病院</p>	
<p>回数： 1回</p>	
<p>院内の関係者の理解を深めるため、「大腿骨頸部骨折連携パス運用フローチャート」を作成して配布している。また、家族については手術3日前に「大腿骨頸部骨折連携パス」</p>	



の説明を行い、術日にソーシャルワーカーが家族と面談するなど、早期から家族にリハビリテーション病院への転院についての情報提供を行っている。  
院外においては、総会とパス会議で関連施設の情報共有及び問題点の洗い出しと対策について協議している。

### 3. がん病診連携システム (S-NET)

#### 1) 内容

急性期病院・診療所の2人主治医制の医療連携。

連携施設は共通の医療連携パス（術後地域連携パス）と所定の診療情報提供書（紹介状）により情報を共有している

対象疾患：大腸がん、胃がん、乳がん、肺がん。

診療所と病院でパスに則り定期的に経過観察を行う術後の共有パスシステムとなっている。また地域医療連携室が診療所宛てに急性期病院の受診案内を送付している。

#### 2) 実績

登録患者数	平成26年度	42件	延数	296件
内訳	大腸がん	11件		133件
	胃がん	8件		73件
	乳がん	23件		79件
	肺がん	0件		11件

#### 3) 普及させるための取り組み

名称：S-NET協議会

出席：院内 11名

院外 医師会、8病院、薬剤師会、ケアマネ協会、訪問看護

回数：1回

院内においては、病院内のイントラネットを用いて、各部署間の情報共有がスムーズに行なわれるように配慮している。

院外においては協議会で関連施設の情報共有及び問題点の洗い出しと対策について協議している。